

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 2 月 28 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	小黑岳志
研究課題	統語論における談話参加者の存在 –聞き手の存在–				
研究キーワード	統語論, 談話参加者, 聞き手	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

文の構造において発話行為投射を想定し、願望表現の統語的特徴を検討し統語的分析を試みた。その際に addressee と hearer には微妙な違いがあるということを示し、統語的に扱えると論じた。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

【学会発表等】

Remarks on Addressed Non-Hearers

The 24th Seoul International Conference on Generative Grammar

2022/08/12-08/14（オンライン開催）（アブストラクトの査読あり）

3. 主な経費

研究活動のために PC を購入した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特にありません。

（本文は2ページ以内にまとめること）